「2005年1月から2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で、
大腸癌肝転移に対する手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

「大腸癌肝転移に対する腹腔鏡と開腹肝切除の手術侵襲と再発・予後の比較に関する研究」について

当教室では、2005年1月より2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で大腸癌肝転移に対する手術を受けられた患者さんについて、腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除の長期成績をさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、大腸癌肝転移に対する腹腔鏡下肝切除の開腹肝切除と比較した長期成績を含めた手術成績を明らかにすることです。この研究は、日本肝胆膵外科学会が主導して実施する多施設共同後ろ向き観察研究で、学術論文として発表される予定です。 本研究はカルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。利益相反とは、研究をするのに必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみがおこりかねない状態のことをいいます。本研究資金は、肝胆膵外科学会の運営交付金で行われますが、本学には交付されることはなく、教員研究費を用いる研究のため、利益相反の状態にはなりません。研究への参加を希望されない方や、疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者:消化器外科学　臨床助教　窪田寿子
e-mail: kubota@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL:086-462-1111(内線 44323),　FAX:086-462-1199